アクスル・スピンドルの点検整備について

2013 年 11 月発行
2014 年 4 月改訂
東邦車輛株式会社

トレーラ点検整備方式の走行装置の項目において､アクスル･スピンドルの点検を規定しています(表１参照)。当該点検は**使用開始から５年以上経過した車両は定期点検時に必ず実施**して下さい。

表１　点検整備方式(取扱説明書抜粋)

点検項目			点検時期				判定基準
			被牽引自動車				
点検箇所		点検内容	日常点検	1月ごと	3月ごと	12月ごと	
走行装置	アクスル	スピンドルの亀裂及び損傷				△	摩耗は限度以下、亀裂はないこと。

△印は弊社が指定している長年使用し続けたトレーラの場合の点検項目を示します。
長年使用し続けたとは、使用開始から５年以上経過したトレーラを指します。

点検要領

1. スピンドルの段差部および溶接部の亀裂の有無を染色浸透探傷により点検して下さい(図1及び写真1参照)。
2. アウタ・ベアリング挿入部直径およびインナ・ベアリング挿入部直径をマイクロメータ等で計測し(図 1及び写真 1～写真 3 参照)、使用限度寸法(表 2 参照)以下であることを点検して下さい。計測は水平方向及び垂直方向にて行ってください。

※水平方向, 垂直方向どちらかでも使用限度寸法を超える場合、又は使用限度寸法以内でも異状な摩耗、損傷、亀裂が見られた場合はアクスルを交換して下さい。

表２　各車軸型式のベアリング挿入部直径基準寸法と限度寸法

車軸型式	アウタ・ベアリング		インナ・ベアリング	
	基準寸法	限度寸法	基準寸法	限度寸法
86，87，88，89，810，0840，0842，0844，1036	70㎜	69.92㎜	85㎜	84.92㎜
1013，1015，1021	75㎜	74.92㎜	85㎜	84.92㎜
0830，1030，1033，1037，1040，1043，1047，1048，1050，1053，1057，1060，1067	75㎜	74.92㎜	90㎜	89.92㎜
152，153，0847，0849，1530，1540，1550，1560，2030，2040，2050	95㎜	94.92㎜	105㎜	104.92㎜

※限度寸法＝基準寸法－0.08㎜

図１　アクスル・スピンドル部の点検

写真１　アクスル・スピンドル部の点検

写真２ アウタ・ベアリング挿入部直径計測（水平方向）

写真３ アウタ・ベアリング挿入部直径計測（垂直方向）

尚、一般社団法人日本自動車車体工業会トレーラ部会発行のトレーラサービスニュース№32 も合わせてご参照下さい。

以上